様式３(2020.08改)

作成日　令和２年９月１０日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2376200230
事業所名	グループホームJO･さざんか　第2

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	こども園や小学校との交流を継続している。 コロナ感染症予防のため、一緒に楽しい時間を過ごすことはできないが、玄関で作品を交換することはできた。 地域の高齢者クラブからはタオルや洗剤の差し入れがあった。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議の中で、出席者に一言ずつ発言をしてもらう機会を設け、場が和んだ状態で意見交換を行っている。 同法人のホームと合同で、家族、地域、行政の参加を得て開催してきたが、現在は感染予防のため開催を見送っている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	市が主催する研修やグループホーム連絡協議会に参加している。 地域包括支援センター職員が毎回運営推進会議に参加しており、ホームを理解して、いつでも相談できる関係性を築いている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	家族の面会時にはお茶を出し、日常の様子を伝えながら意見や要望を聞いている。 現在はコロナ感染症予防のため面会に制限はあるが、希望があれば玄関先で顔を見て安心してもらうよう努めている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	×
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		×

備考欄】

今年度は3回のみ開催した。3回は中止とし、書面の配布や情報提供、情報共有は行っていない。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	×										